

特定非営利活動法人 女性技術士の会

ニュースレター vol.31



風薫る季節になりました。日々、昨日とは違う花や鳥を発見する心楽しい季節です。年度始めの新鮮さも一段落、という時期でもありますが、窓の外の季節のうつろいに目を移して、たまった疲れを癒してみたいかがでしょうか。

本ニュースレターは、特定非営利活動法人女性技術士の会会員のみなさまへ、本法人の活動内容を中心にお知らせいたします。第31号では、2016年11月～2017年4月の活動報告、会員からの発信、運営報告、今後の活動予定などをお届けします。前号より始まった新企画「技術士の部門紹介」、今回は情報工学部門を取り上げました。

ニュースレターではみなさまからの投稿記事を募集しますので、仕事のこと、趣味のことなど、お気軽に投稿してください。詳細は巻末のアドレスまでお問い合わせください。

CONTENTS		
活動報告		2 ページ
■ 1016/11/19	シンポジウム「女性技術者とワークライフバランス」第2回 ～仕事と介護編～ 報告その2	2 ページ
■ 2016/12/03	国・地方連携ネットワークを活用した男女共同参画推進事業 「自然と科学が拓く地域の未来、あなたの未来」参加報告	3 ページ
■ 2017/02/11	新年会	3 ページ
会員からの発信		4 ページ
■ 林栄津子さん	「林業職として再出発」	4 ページ
【シリーズ企画】技術士の部門紹介 第2回 情報工学部門		5 ページ
■ 廣瀬由紀さん	「社会のITインフラを支える」	5 ページ
運営報告		6 ページ
今後の活動予定		6 ページ
■ 2017/05/20	第10回通常総会および講演会	6 ページ
■ 2017/07/14～16	INWES APNN 2017 Meeting in 横浜	7 ページ
■ 2017/07/15	横浜市次世代育成事業「リケジヨのホンネ?理系の仕事って面白い!」	7 ページ
■ 2017/08/06 予定	女子中高生夏の学校 2017 ～科学・技術・人との出会い～	7 ページ
■ 2017/10/05～07	ICWES17 (第17回国際女性技術者科学者会議)	7 ページ
■ 2017/10/26	第11回日韓女性技術士交流会	8 ページ
技術士を目指して		8 ページ
■ 永吉春菜さん	「仕事を楽しめる技術者をめざして」	8 ページ

活動報告

■ シンポジウム「女性技術者とワークライフバランス」第2回 ～仕事と介護編～ 報告その2

(このシンポジウムの詳細については、ニュースレターVol.30に掲載)

- ◆ 日時：2016年11月19日 14:00～17:00
- ◆ 参加者：23名(会員18名、一般参加者5名)
- ◆ テーマ：家庭の責任と仕事の責任
- ◆ 概要：2015年度開催のシンポジウム「女性技術者とワークライフバランス 第1回 ～現状と課題編～」は主に若手女性技術者を対象とし、仕事と家事・育児の両立について話し合われたが、2回目となる今回は、主に中高年の社会人を対象とし、仕事と介護の両立について、専門家による基調講演の後、介護経験者を交えたパネルディスカッション及び質疑応答を行った。
- ◆ 事後アンケートのまとめ(7名提出)



下記にまとめたように、参加者に楽しんでいただけたと感じている。今後も介護を体験される会員は増えていくと考えられるので、仕事との両立に役立つ情報を発信し続けていきたい。

参加者23名に対し回答者が7名(回収率:約30%)であったことは少し残念であった。原因としては、3時間の中に「基調講演」、「パネルディスカッション」、「質疑応答」と内容が盛りだくさんであったため、アンケート用紙記入の時間が足りなかったためと考えられるので、次回以降、改善していきたい。

A. 講演内容はいかがでしたか？

1. 非常に興味深かった：7
2. まあまあ興味を持てた：0
3. あまり興味を持てなかった：0

B. 対談はいかがでしたか？

1. 自分の人生設計に大いに活用できる：5
2. 一部活用できる内容もあった：2
3. 活用できない：0

C. フリートーク

1. 有意義な交流ができた：5
2. それなりに楽しめた：2
3. あまり楽しめなかった：0

自由意見

とても勉強になりました。早速家族で話し合い現実を考え行動していきたいと思います。

在宅勤務のポイントについて学ぶことができた。

余裕をもって対応していける自信が付きました。

基本知識がなかったので非常に勉強になりました。

■ 国・地方連携ネットワークを活用した男女共同参画推進事業

「自然と科学が拓く地域の未来、あなたの未来」参加報告

- ◆ 日時：2016年12月3日(土)
- ◆ 場所：高山市文化会館(岐阜県高山市)
- ◆ 主催：内閣府、男女共同参画推進連携会議、一般社団法人日本女性科学者の会
- ◆ 参加者：50名
- ◆ 経緯：日本女性科学者の会からの依頼講演
- ◆ 目的：女性が働き続けることの必要性及び重要性の啓発と、さまざまな理工系分野で働く女性科学技術者



の事例を紹介するとともに、全員参加の話し合いにより「自分の将来の仕事」について自ら考えることを目的として開催された。

◆ 概要：

【第1部】4名（医師1名・地場産業経営者2名・本法人理事長）による講演。職種の違う4名が仕事の内容・面白さを交えながら、やがてはその仕事の人々の暮らし・地域への貢献に繋がる事を話した。

講師4名の講演タイトルは以下のとおりである。

○白子順子氏（高山赤十字病院第一内科部長）「医者というお仕事」

○岡田賢三氏（飛騨産業株式会社代表取締役社長）「飛騨産業株式会社の取組と女性の活躍」

○丸山広恵氏（アピ株式会社事業戦略室次長）「仕事へのモチベーション」

○木村了氏（NPO 法人女性技術士の会理事長）「理系職業の楽しさ…期待される女性の発想」

【第2部】パネルディスカッション。「社会で役立つ理系の勉強、未来の仕事を見つけよう！」と題し、第1部の講師4名と教育関係者・高山市職員の計8名の皆様が、各人の学生時代の経験を通し現在に至るまでの経緯を理系の視点から討論した。



■ 新年会

◆ 日時：2017年2月11日（土）18：00～20：00

◆ 場所：琉球市場 やちむん 丸の内

◆ 参加者：会員18名、賛助企業から2名、非会員1名、合計21名。

◆ 概要：理事長挨拶に始まり、参加者全員から公私にわたる最新情報の紹介があり、今年の行事予定の発表などがあった。初代会長の東山先生もお元気に参加され、健康の秘訣を紹介されたり、参加者の1分間スピーチによって、様々な話題が満載となった。会場は、2013年に東京駅丸の内側にできた「KITTEビル」であり、もと東京中央郵便局の建物の外観の一部を残したまま高層化したという建築的に面白いビルであった。昨年同様、開始時間を早めに設定し、遠方から参加の方でも新幹線でその日のうちに帰宅できるように配慮した。男性も4名参加し、盛況裏に終わった。



会員からの発信

■ 林 栄津子さん（森林部門）「林業職として再出発」

2016年から女性技術士の会に加えていただいた林と申します。このニュースレターに初の執筆なので、自己紹介としてこれまでのことを書いてみます。

現在私は、森林分野の技術職員として群馬県に入庁し、1年が経ちます。学生時代は農学部の林学科（現在の森林科学科）を卒業し、修士課程にてスギの人工林内に生えてくる広葉樹の研究をした後、民間の建設コンサルタントに就職しました。そこで自然環境調査や、自治体の計画等の報告書を作成する業務を14年間（1社目11年、2社目3年）経験し、技術士（森林部門/林業）試験に合格し、技術士を取得した年に社会人枠の公務員試験を受けて採用になり、家族と都内からiターンにて群馬県へ移住してきました。この4月で2人の娘は小学三年生、保育園年長となりました。

現在担当している仕事は、森林を保全するための保安林（森林が保安林に指定された場合、その所有者は樹木の伐採の制限を受け、植栽義務が課せられる代わりに税金が控除される）という制度があり、その許認可や台帳・図面の管理等をしています。公務員は概ね2年で配属が変わる場合が多いものの、今後も森林に関する様々な仕事（林道の設計、地域森林計画の編成、森林関係の普及啓発など）を担当することができそうです。

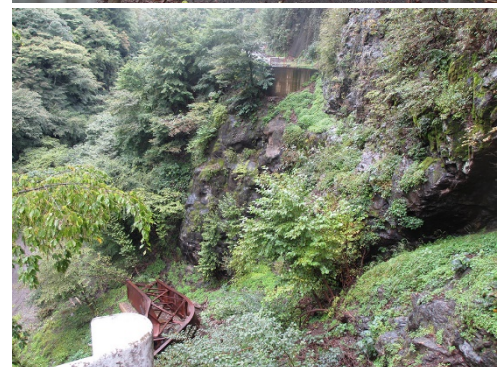
私が林業や自然環境に関わる職種を選んだきっかけは、建築士の父親が仕事場から持ち帰った木片を薪ストーブの燃料にしたり、彼が建てた山小屋に遊びに行くなど、幼少のころから木材に親しむことが多かったことが挙げられます。また家の中でじっとしていることができず、電車や探検が好きだったので男の子とばかり遊んでいたのを覚えています。中学校時代には剣道で勝負魂を培い、音楽で言うと3B（バッハ・ブラームス・ベートーベン）好きといった具合に、力強くダイナミックな事柄に惹かれる人間に仕上がっていききました。

技術士を目指したのは、学生時代に林業や土木のコンサルタントでアルバイトをした際、お世話になった技術士の方々の仕事ぶりや人柄に感化されたことが原点で、実際に就職してお世話になった上司や周囲の技術士を目標に、いずれは取得をしたいと考えていました。

技術職として公務員を受けたのは、今までの知識や経験を生かして仕事を続けたいと思ったこと、子育てと仕事の両立を考えた結果でした。公務員になってみて、法律など覚えることは膨大にあり、財政難で人員削減が進む時代に楽な職業ではないものの、職場が子育てに理解を示してくださり、また、先行き不透明な前職の頃よりも、精神的な安定や時間的余裕を得たことが、子育てと仕事の両立のしやすさにつながっていると思われます。実際のところ、職場・家庭・子育てが合格点とは言えないながら、周囲の人柄に支えられ、継続することを許してもらえているので、それに感謝して最善を尽くすことを自身の座右の銘として頑張っていこうと思います。女性技術士の会では、パワフルな皆様に学ぶところが多く、会の行事に参加すると元気をもらって帰ってきます。今後ともお知恵を借りられるとうれしいです。よろしく願いいたします。



家族とともに



森林土木研修にて林道の橋崩落現場を視察
上：崩落現場、下：落下した橋

■ 廣瀬由紀さん（情報工学部門/情報応用） 「社会のITインフラを支える」

● 情報工学部門の概要

情報工学部門は技術士の21部門の中では、比較的新しい部門です。第1回技術士試験が実施されたのは1958年ですが、情報工学部門の前身である情報処理部門が創設されたのは1971年のことです。この時は、情報管理/応用数学/電子計算機応用の3科目でした。以降、ほぼ10年毎に選択科目の見直しが行われるとともに部門の名称自体も1994年に情報工学部門と改称されました。表にまとめた選択科目の変遷からもわかるように、この分野は、工学の中では歴史が新しい分野であり、急激に発達を遂げているため技術動向の変化が激しいといえます。

	部門の変遷	選択科目の変遷			
1971	情報処理部門創設	情報管理	応用数学		電子計算機応用
1982		情報システム	情報数理		電子計算機システム
1994	情報工学部門に改称	情報システム	情報数理及び知識処理	情報応用	電子計算機システム
2004		コンピュータ工学	ソフトウェア工学	情報システム・データ工学	情報ネットワーク
2018(予定)		コンピュータ工学	ソフトウェア工学	情報システム	情報基盤

情報工学部門の最大の特徴は、業種を問わず全ての企業・団体・社会全体で必要とされており、活躍の場があるということです。ですから、情報工学部門の技術士は、ソフトウェア会社やSIer¹だけでなく、全ての一般企業に存在する可能性があります。さらに、情報工学部門の技術士には、理工系大学の情報系学部出身者だけでなく他学部あるいは、文系学部からSEになったという人もたくさんいます。

科目によっては経営工学部門や電気電子部門に近い専門もあります。経済産業省管轄の情報処理技術者試験はレベルや専門によって細分化されているのに対して、統括的な資格であり単なる知識より実際の問題解決力や応用力を求められる資格といえます。試験では、毎年新しいキーワードが出題されます。例えば、IoT、Fintech、PaaSなどの新語を常に理解して、自分の業務にどう応用できるか考える姿勢が必要です。

● 現在の私の担当業務の紹介など

私は、工学部建築学科を卒業後、ゼネコンを経て現在は建築設計事務所勤務ですが、一貫して情報システム分野の仕事をしてきました。現在の仕事の内容は、大きくは2つあります。まず、社内全般のIT管理です。社員全員が一人1台以上のパソコンやスマートフォンを使用して、毎日の業務を支障なく進めることができるように、効率的な方法を常に維持するだけでなく、よりよい改善を目指しています。このためには、日々進化するICT技術の情報収集は欠かせません。さらにできるだけ、費用を抑えるための方法も考えなければなりません。この仕事の苦勞は、問題なく稼働している時は忘れられた存在なのに、何か問題が発生すれば、一刻も早い解決復旧を求められるという厳しさがあります。そのために、日頃からの予防的な措置（例えば、システムの二重化やセキュリティ面での注意喚起）にも大きな努力を払っています。

もう一つの大きな仕事は、システム開発です。数年前から社内プロジェクト管理システム構築を進めており、昨年から実使用が始まったので、現在は機能拡張中です。システム開発業務は「ものづくり」ですので、完成を目指して楽しい仕事ではありますが、思うように動かない時の問題解決は、誰にも頼れずコツコツと自分で考えなければならない孤独な作業です。大きな専門ソフトウェア会社であれば、周囲に同じような職種の人がたくさんいますが、一般企業のシステム部門の場合は、限られた人数で多くの業務をこなしているため、専門的な問題を相談できる人が少ないのが悩みの種です。今後も経費節減と業務効率化を目指し、さらに高品質の建築作品を生み出すために貢献していきたいと思っています。

¹ SIer：システムインテグレーター

運営報告

主 体	日 時	議 題
理 事 会	2月11日(土) 14:30~16:30	各部会活動報告、総会準備と Web カメラ導入について、理事会メンバーの改正について、APNN の概要と人員配置について、見学会開催準備、その他
	4月8日(土) 10:00~12:00	各部会活動報告、総会資料の確認、本年度の活動予定、APNN の準備、ICWES17 参加内容について、リコチャレ応援ネットワークへの参加について、その他
事 務 局	-	入退会管理、資金管理、Web 確認、新年会・総会出欠申込み管理 等
企 画 部	3月27日(月)、4月5日(水) 18:30~20:30	APNN 内で開催するシンポジウムと出前講座について(国際部会と合同)
広 報 部	4月19日(水) 18:30~20:30	理事会協議事項の伝達、ニュースレター (Vo.31、Vol.32) の編集、冊子改訂スケジュール、APNN への参画 他
国 際 部	3月27日(月)、4月5日(水) 18:30~20:30	APNN 内で開催するシンポジウムと出前講座について(企画部会と合同)
地域交流部	メールによる活動	会員からの活動ニーズ調査、会員活動情報の発信

今後の活動予定

■ 第10回通常総会および講演会

◆ 日 時：5月20日(土) 14:00~17:00

◆ 場 所：ダイナミック・アート館(品川区上大崎4丁目4-8(最寄駅：JR 目黒から90m))

◆ 概 要：総会および講演会(終了後懇親会；17時半から2時間程度、場所未定)。講演会は「プレゼンの手法-国際会議に向けて」と題し、世界に通じる交渉術・プレゼン術を、本法人も構成団体である JNWES (NPO 日本女性技術者科学者ネットワーク) 理事長からお話しいただく。その後、今夏、横浜で開催される INWES² APNN³ 2017 Meeting で、本法人が実施するシンポジウム等の内容について紹介する。
※詳細は ML で随時お知らせしますので、ご確認ください。

■ INWES APNN 2017 Meeting in 横浜

◆ 日 時：2017年7月14日(金)~16日(日)

◆ 場 所：横浜シンポジア(横浜商工会議所内)

◆ 主 催：JNWES・・・本法人は構成団体

◆ 対象者：高校生・大学生・留学生・一般

◆ 経 緯：INWES APNN の議長国として任期3年の最終年に当たる今年、自国開催を行う。

◆ 概 要：

【14日】INWES APNN Meeting にてカントリーレポート等の発表を行う。参加予定者は、INWES ボードメンバー(US、ヨーロッパ、アフリカ)他13ヶ国の代表、UNESCO 関係者、日本男女共同参画推進事業関係者等。

【15日】GWST⁴会議「世界で輝け、理系女子！～あなたの夢が世界を変える～」

² INWES : International Network of Women Engineers and Scientists、本法人は INWES の加盟団体。

³ APNN : Asia Pacific Nations Network、INWES におけるアジア・パシフィック諸国のネットワーク。

⁴ GWST : Global Women in Science / Technology

参加予定者は400名。グローバルな環境およびアジア各国で活躍するSTEM分野⁵の女性技術者・科学者の経験などを紹介する。

【16日】ゲストと共に見学会を行う。

※詳しい内容は <http://www.jnwes.org/> 参照。

■ 横浜市次世代育成事業「リケジョのホンネ？理系の仕事って面白い！」（APNN/GWST 同時開催）

- ◆ 日時：2017年7月15日（土）13:30~15:30
- ◆ 場所：横浜シンポジア（横浜商工会議所内）
- ◆ 主催：JNWES・・・本法人はJNWESの構成団体であり、この事業を担当する
- ◆ 対象者：高校生・教育関係者
- ◆ 経緯：例年行っている出前講座をGWST開催と同時に進行。
- ◆ 概要：出前講座「理系に行こう」を横浜市の援助によりバージョンアップして開催する。冊子「理系の仕事って？」を解りやすく説明後、DVD「理系に行こう」でロールモデルの仕事を紹介、最後に参加者とのディスカッションを行い、理系の仕事に対する理解を深める。

■ 女子中高生夏の学校2017 ～科学・技術・人との出会い～

- ◆ 日時：2017年8月6日（日）PM 予定（ポスター展示）
- ◆ 場所：（独）国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地）
- ◆ 対象者：理系を目指す女子中高生および保護者・教員
- ◆ 概要：本企画は、（独）国立女性教育会館（NWEC）が、国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）の「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の委託を受けて毎年実施しているもので、本法人も協賛参加し、ブースを設け、ポスター展示、理系の職域紹介およびキャリア相談等を行っている。2014年度より、本法人で制作した冊子「理系の仕事って？」を配布して、大学の学部選択とその後の職業との関連について、分かり易く説明している。

■ ICWES17（第17回国際女性技術者科学者会議）

- ◆ 日時：2017年10月5日（水）～7日（金）
 - ◆ 開催場所：インド共和国（ニューデリー アエロシティ J.W. Marriott Hotel）
 - ◆ 主催：INWES
 - ◆ 活動形態：INWESの加盟団体であるJNWESの構成員として参加
 - ◆ 対象者：INWESメンバー及び一般
 - ◆ テーマ：ビジョン2025「国家の持続的かつ包括的な成長を達成するための科学技術ロードマップを設計する」。サブテーマは「清潔でグリーンな技術と科学的開発であるスマートシティとスマートトランスポートシステムのエンジニアリング」。
 - ◆ 概要：本法人は、第15回ICWESから継続して行ってきた「Let's talk about working」シリーズの第3弾として、シンポジウム“Women Professional Engineer at Work”（テーマはジェンダーフリー）を予定している。
- ※会議の詳細に関しては、MLやWebサイトにて、随時、お知らせします。

⁵ STEM分野：Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）の頭文字をとったもので、APNN会議では、薬学の分野も含まれる。

■ 第 11 回日韓女性技術士交流会（発表者募集中）

◆ 日 時：2017 年 10 月 26 日（木）

◆ 場 所：韓国（釜山広域市 釜山ロッテホテル）

◆ 活動形態：共催

◆ 主 催：韓国技術士会 女性委員会

◆ 経 緯：11 年前より（公社）日本技術士会 日韓技術士国際会議のプレイベントとして女性技術士シンポジウムを開催

◆ 概 要：両会の技術発表と活動報告、文化交流、食事会（予定）

◆ 参 考：（公社）日本技術士会主催 日韓技術士国際会議 10 月 27 日（金）～28（土）開催テーマ「気候変動と自然災害への挑戦および対策」（予定）

※発表者には交通費の補助があります。日程・テーマ等は現時点での予定です。

技術士を目指して

■ 永吉春菜さん（農業環境工学専攻） 「仕事を楽しめる技術者をめざして」

3 年前の大学入学当時、まさか自分が農業工学を専攻するとは思っていませんでした。ところがふたを開けてみれば、地域空間情報学研究室に加わり、大学の小麦畑でドローンを飛ばし、作物の観測を行っています。作物の育成判断が機械化できれば、農業において必要とされる長年のコツや勘というものが無い初心者でも容易に生産に参入することができます。また、田畑のように広い土地の様子が瞬時に分かるようになれば、生産効率の向上にもつながります。



過去を振り返ってみると、私は理科の授業が面白くて理数科の高校を選びました。高校では男女比 3 : 1 の世界でしたが、大学へ進学しても理系分野を学びたいという思いがありました。そこで、人が生きるのに欠かせない食料に関わる学問、農学部を選びました。食べることは当たり前で欠かせないことなのに、日本の農業は衰退していく一方のように感じ、そんな現状を変えられないのか、力になれることはないのか知りたいと考えたからでした。食べるのが好きだったこと、外に出て活動するのが好きだったことも、理由だと思います。もしかしたら、食べるのが一番の目当てだったかもしれません。

鶏の解体（卵から生育、解体まで自分たちで行う）、農村での宿泊・聞き取り調査、植生の管理、生態系、測量、GIS、土壌生態管理、直播による田植え、農地工学、設計や製図……。入学からこれまで幅広く学びました。しかし、将来どんな職業に就きたいのかはぼんやりとしていました。そんなとき、製図・設計の授業で女性技術士の会や、その理事長をされている木村先生と出会いました。そこで、ゼロから作りあげていくものづくりの楽しさ、女性が技術者として快活に働いていることを知りました。就職活動をするなかでも、育児や家事の合間に資格の勉強をし、仕事を効率よく完遂させている女性の方々に話を伺うことがあります。

そんな女性たちをみていると、仕事にも生活にも一生懸命な女性に私もなりたい、なにより、仕事を楽しめる人になりたいと思います。そのためには常に広範囲にアンテナを張って、学び続ける姿勢が必要だと考えています。

最後に、執筆の機会を設けてくださった木村先生、そしてニュースレターをお読みの皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

ニュースレターについてのご意見・ご感想はこちらまで：info@pej-lady.org

2017 年第 2 号 通巻第 31 号 発行責任者：特定非営利活動法人 女性技術士の会 理事長 木村了